

今年の夏、久しぶりにナーシングセミナーを開催しました。感想は、8ページをご覧ください。

看護学生のための情報誌

まろり 看護学生

2023年 10 11 月号

まろり看護学生

発行/兵庫県民医療機関連合会 看護学生委員会 〒650-0047 神戸市中央区港島南町5-3-7
Tel:078-303-7351 Fax:078-303-7353 E-mail:kangakusei@hyogo-min.com

看護の現場は、学びがいっぱい！

ナーシングセミナー

8月から9月にかけて、兵庫民医連の各病院で看護学生のみなさんを対象にナーシングセミナー(看護学生の現場実習)を開催しました。感想の一部をご紹介します☆



東神戸病院

回復期リハビリ病棟

廊下ですれ違っても患者さんに声をかけ、患者さんの笑顔を見るとコミュニケーションが取れているんだなと感じました。スタッフ間も雰囲気がとてもよかったです。1年後自分も働けるよう頑張ろうと思いました。(大学4年生)

急性期病棟

患者さんのシーツ交換をさせてもらいました。実習とは違うことに戸惑いながら、直接患者さんに関わることができてよかったです。看護師になりたい意欲も湧いてきました。(専門学校1年生)



神戸協同病院

内科・整形病棟

術後など重症化のリスクの高い患者さんから、病状が安定してきているがまだ治療や療養が必要な患者さんまで、様々な状態の患者さんに対する看護を提供していると学びました。そのため、処置やケアも多く、様々な知識やケアの技術が求められると感じました。また、スタッフや看護師など多職種とのコミュニケーションも多く、フラットに意見を言い合えたり、分からないことは聞いたりできる環境だと感じました。声をかけ合いながら協力して日々の業務をされている様子を観ることができました。(大学4年生)

緩和ケア病棟

病棟内がゆったりしている印象でした。治療メインではないため、患者さんも穏やかに過ごすことができると感じました。また、意思疎通が困難な患者さんがいることも多く、コミュニケーションや日々の観察がとても重要だと感じました。ケアの見学もさせていただき、看護師さんの声かけが一つひとつの動作にあたり、対応がとても丁寧だと思いました。大変勉強になりました。(専門学校3年生)



尼崎医療生協病院

病院での演習は、学生対看護師1名のため、側でご指導をいただきながらの体験は初めてでした。細かな疑問でも質問をすれば丁寧に答えをいただき安心して行うことができました。とても楽しかったです。(専門学校1年生)

足浴、車椅子移乗だけでなく、体位変換も教えてもらいました。学校では先生に見てもらえる機会がそんなにないですが看護師さんに囲まれて教えてもらうことが出来ていい機会だったと思います。学校でも頑張ります。(専門学校1年生)



- 02・03 看護の現場より — 佐々木 暁子さん(尼崎医療生協病院)
- 04・05 1年目看護師の研修奮闘ダイアリー part.3
- 06 私の出会った患者さん — 若松 あゆみさん(神戸協同病院)
- 07 ほっとStation
- 08 ナーシングセミナー

